

占星術師が訪れる

マタイによる福音 2:1-12

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。

『ユダの地、ベツレヘムよ、
お前はユダの指導者たちの中で
決していちばん小さなものではない。
お前から指導者が現れ、
わたしの民

イスラエルの牧者となるからである。』」

そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。

説教

2019.1.6 主の公現（降誕節第二主日）

占星術師が訪れる

マタイによる福音 2:1-12

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。

『ユダの地、ベツレヘムよ、

お前はユダの指導者たちの中で

決していちばん小さなものではない。

お前から指導者が現れ、

わたしの民

イスラエルの牧者となるからである。』」

そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通って自

分たちの国へ帰って行った。

説教

わたしたちキリスト教徒は「神を待ち望む民」です。キリスト教ではなくても、この願いは信仰をもっている人、神を信じる人ならば共通の望みです。これは今もむかしも変わることはない真実です。ヘロデの統治する当時のイスラエルの民も神を待ち望む人々でした。

さて、きょうの朗読では東方の占星術師たちが主人公として登場します。彼らは「東の方からやって来た」と福音書で説明されているので非ユダヤ人で異教の民です。その異教徒がユダヤ王、ヘロデのところをはるばると訪問してこう言いました。

ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。マタイ2:2

占星術師たちの訪問目的は誕生したユダヤ王子の礼拝で、星の知らせを受けてやってきたといえます。寝耳に水のヘロデは緊急会議を招集してメシア誕生の地を確かめて東方の占星術師に教えます。さらにヘロデは占星術師に訊きます。

ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。マタイ2:7

福音書には「星の現れた時期」=イエス誕生の日は記されていませんが、キリスト教の言い伝えでは「12日前」です。きょうは1月6日で12日前は12月25日となります。キリスト教の伝統では1月6日が「主の公現」エピファネイアとされています。

占星術師たちはヘロデ王から生誕地はベツレヘムとの情報を得て、星に導かれて目的を果たしました。

彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開

けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。 マタイ2：9-11

この礼拝のあと、占星術師たちは「夢のお告げ」を受けてヘロデを避けて国に帰りました。彼らも帰国して報告する義務があるでしょうから、ヘロデの陰謀にかかわる余裕はなかったのでしょうか。メシア誕生のニュースは異教徒にとっても重大な出来事だったはずです。いち早く知らせることが彼らの使命です。それにしても、神を待ち望み、神に選ばれた民を自負するユダヤ人たちより早く東方の識者たちがイエスを礼拝したことは皮肉です。

わたしたちもウツカリすることなく、東方の占星術師たちのように徴（しるし）を見極め、かすかな産声を聞き分けることができますように。
